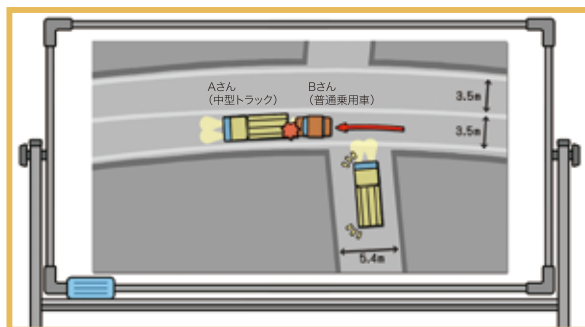


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

Aさん(60代、中型トラック、男性)は週末の夜7時ごろ事故現場近くの会社に荷物の搬送を終えて帰る途中、片側1車線の国道と交差する信号のない道路を左折。次の瞬間、国道を右方から進行してきたBさん(40代、普通乗用車、男性)の車がAさんの車両に追突してしまいました。この事故によりBさんの車は大破し、重傷を負ってしまいました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

Aさんは左折する交差点の直前で一時停止をし、左右を見ましたが国道の右方からくる車両が途切れていると思い込み、安全を十分に確認しないまま左折進行しました。この国道は事故現場に至る部分がやや緩やかに左カーブしており、また上り勾配でもあったものの、Aさんの右方から来る車両を確認しづらいと

いうほどの状況ではありませんでした。一方Bさんは最高速度時速60キロ制限区間であったにもかかわらず、時速80キロ近くで走行しており、またライトを下向きのまま前方をよく見ないで漫然運転になったことも事故の要因です。

## 安全運転に向けて指導のポイント

信号の無い交差点において、国道のように交通の流れの早い道路に左折進入する場合は、安全確認を十分に行う必要があります。夜間は接近車両の速度がつかみ難く、交通環境や道路形状によっては一層の安全確認が必要です。また一般的に、一時停止後

から左折直後は車両速度が出ていないため、右方から進行する車両との速度差を考慮して、余裕をもって左折をする必要があります。その他にも仕事の帰りといった気の緩みにも注意し、最後まで安全運転の意識を保つようにしましょう。

## 今月の安全メモ!

- ・左折時は、右方から進行する車の動向に注意し、速度差を考えて安全なタイミングで左折をしよう!
- ・1日の仕事が終わっても最後まで気を抜かず、安全運転で帰社(帰宅)しよう!